# 貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

| 営業所名 | クレインハート株式会社 | 運行管理者 | 田口　勇樹　印 |
|---|---|---|---|
| 実施年月日 | 令和　6年　7月　24日 | 指導時間 | 座学　2　時間<br>実技　6.5　時間 |
| 実施場所 | 座学　本所<br>実技　指示書参照 | 指導講師 | 座学　田口　勇樹<br>実技　野﨑　達朗 |

**【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。**

☑座学（①から⑥合計10時間以上）　☑実技指導（20時間以上）

☑ ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)

☐ ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法

☐ ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄの着用徹底等）

☐ ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する**同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導**)

☐ ⑤ ASV車両の適切な運転方法

☑ ⑥ ⑦で実施した**ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録を利用した**運転特性の把握と是正

☑ ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の**車両を運転させ、添乗により指導**）※ 28.12.1より施行

**【準初任運転者指導項目】☐ 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施**

**※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する**

【実施した具体的な指導内容】

- 安全運転について発進・停止（ブレーキ）・運転速度・カーブ走行・交差点・横断歩道・横断歩道・車間距離・飲酒運転など基本的なことを指導
- 自社の点呼装置等について指導
- 自社のバス装置等について指導
- 本日の実技後に、運転日報（ドライブレコーダー記録）・安全日報を用いて安全運転の指導

【配布資料】

・安全運転について基本的資料

・本日の運転日報と安全日報

※1 使用したテキスト、資料、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録等を添付すること。ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、**乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付**

3 指導実施後、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

| 受講者名(必須) | 印 | 受講者氏名 | 印 | 受講者氏名 | 印 | 受講者氏名 | 印 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 坂本　和夫 | 坂元 | | | | | | |

# 貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

| 営業所名 | クレインハート株式会社 | 運行管理者 | 田口　勇樹　印 |
|---|---|---|---|
| 実施年月日 | 令和　6年　7月　25日 | 指導時間 | 座学　2 時間<br>実技　6.5 時間 |
| 実施場所 | 座学　本所<br>実技　指示書参照 | 指導講師 | 座学　田口　勇樹<br>実技　野﨑　達朗 |

**【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。**

☑ 座 学 （①から⑥合計10時間以上）　☑ 実技指導（20時間以上）

- ☐ ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ☑ ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ☐ ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄの着用徹底等）
- ☐ ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する**同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導**)
- ☐ ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ☑ ⑥ ⑦で実施した**ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録を利用した**運転特性の把握と是正
- ☑ ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の**車両を運転させ、添乗により指導**）※ 28.12.1より施行

**【準初任運転者指導項目】☐ 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施**

**※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する**

【実施した具体的な指導内容】

- バスの特性について車高・車長・車幅による死角のうまれ方、スピードが運転に与える影響など構造上の危険を指導
- 日常点検の方法と大切さを指導
- 本日の実技後に、運転日報（ドライブレコーダー記録）・安全日報を用いて安全運転の指導

【配布資料】

・構造上の特性と日常点検の実施方法

・本日の運転日報と安全日報

※１使用したテキスト、資料、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録等を添付すること。ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録は３年間保存

２具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、**乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付**

３ 指導実施後、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

| 受講者名(必須) | 印 | 受講者氏名 | 印 | 受講者氏名 | 印 | 受講者氏名 | 印 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 坂本　和夫 | 坂元 | | | | | | |

# 貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

| 営業所名 | クレインハート株式会社 | 運行管理者 | 田口　勇樹　印 |
|---|---|---|---|
| 実施年月日 | 令和　6年　8月　1日 | 指導時間 | 座学　2　時 間<br>実技　6.5　時 間 |
| 実施場所 | 座学　本所<br>実技　指示書参照 | 指導講師 | 座学　田口　勇樹<br>実技　野﨑　達朗 |

**【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。**

□ 座 学 （①から⑥合計10時間以上）　□ 実技指導（20時間以上）

□ ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)

□ ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法

□ ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄの着用徹底等）

□ ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する**同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導**)

□ ⑤ ASV車両の適切な運転方法

□ ⑥ ⑦で実施した**ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録を利用した**運転特性の把握と是正

□ ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の**車両を運転させ、添乗により指導**）※ 28.12.1より施行

**【準初任運転者指導項目】□ 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施**

**※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する**

【実施した具体的な指導内容】

- バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守するすることを指導
- 乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項を指導
- 乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項を指導
- 本日の実技後に、運転日報（ドライブレコーダー記録）・安全日報を用いて安全運転の指導

【配布資料】

・運行の安全及び旅客の安全を確保するための資料

・本日の運転日報と安全日報

※１使用したテキスト、資料、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録等を添付すること。ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録は３年間保存

２具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、**乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付**

３ 指導実施後、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

| 受講者名(必須) | 印 | 受講者氏名 | 印 | 受講者氏名 | 印 | 受講者氏名 | 印 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 坂本　和夫 | 坂元 | | | | | | |

# 貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

| 営業所名 | クレインハート株式会社 | 運行管理者 | 田口　勇樹　印 |
|---|---|---|---|
| 実施年月日 | 令和　6年　8月　2日 | 指導時間 | 座学　4　時間<br>実技　3.5　時間 |
| 実施場所 | 座学　本所<br>実技　指示書参照 | 指導講師 | 座学　田口　勇樹<br>実技　野﨑　達朗 |

**【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。**

□ 座 学 （①から⑥合計10時間以上）　□ 実技指導（20時間以上）

□ ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)

□ ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法

□ ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄの着用徹底等）

□ ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する**同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導**)

□ ⑤ ASV車両の適切な運転方法

□ ⑥ ⑦で実施した**ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録を利用した**運転特性の把握と是正

□ ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の**車両を運転させ、添乗により指導**）※ 28.12.1より施行

**【準初任運転者指導項目】□ 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施**

**※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する**

【実施した具体的な指導内容】

● 危険の予測と回避について、雨天時・降雪時・積雪時・濃霧時・強風時・夕方・夜間・緊急時などにおける対応方法ついて指導

● 安全性の向上を図るための装置に係る事故の事例を使い指導

● 運転支援装置の性能及び留意点について指導

● 本日の実技後に、運転日報（ドライブレコーダー記録）・安全日報を用いて安全運転の指導

【配布資料】

・危険の予測及び回避についての資料

・安全性の向上を図るための装置を備える貸切バスの適切な運転方法

・本日の運転日報と安全日報

※１使用したテキスト、資料、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録等を添付すること。ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録は３年間保存

２具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、**乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付**

３ 指導実施後、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

| 受講者名(必須) | 印 | 受講者氏名 | 印 | 受講者氏名 | 印 | 受講者氏名 | 印 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 坂本　和夫 | 坂元 | | | | | | |